

製品安全データシート

作成日 : 平成24年3月10日
改定日

1. 製品・会社情報

製品名 : タケシールPCeco主剤
会社名 : 竹林化学工業株式会社
住所 : 大阪府東大阪市渋川町3丁目1-43
担当部門 : 品質管理部(大江吉郎)
電話番号 : 06-6721-6165
FAX番号 : 06-6720-7308
緊急連絡先 : 06-6721-6165
整理番号 :

2. 危険有害性の概要

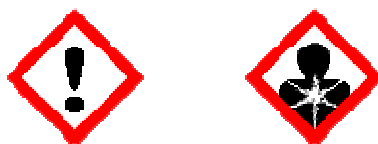
GHS分類

物理化学的危険性:	火薬類 可燃性・引火性ガス 可燃性・引火性エアゾール 支燃性・酸化性ガス 高圧ガス 引火性液体 可燃性固体 自己反応性化学品	分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類できない	自然発火性液体 自然発火性固体 自己発熱性化学品 水反応可燃性化学品 酸化性液体 酸化性固体 有機過酸化物 金属腐食性物質	区分外 分類対象外 分類できない 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類できない
-----------	---	---	--	--

健康に対する有害性:	急性毒性(経口) 急性毒性(経皮) 急性毒性(吸入:ガス) 急性毒性(吸入:蒸気) 急性毒性(吸入:粉じん/ミスト) 皮膚腐食性・刺激性 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 呼吸器感受性と皮膚感受性 生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性 特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露) 特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露) 吸引性呼吸器有害性	区分外 区分外 分類対象外 区分外 分類できない 区分外 区分外 区分1(皮膚感受性) 区分外 区分2 区分外 区分外 区分外 区分外 分類できない
環境に対する有害性:	水性環境急性有害性 水性環境慢性有害性	区分外 区分外

GHSラベル要素

絵表示又は
シンボル:



注意喚起語 : 警告
危険有害性情報:
 ・飲込むと有害のおそれ
 ・皮膚に接触すると有害のおそれ
 ・吸入すると有害のおそれ
 ・軽度の皮膚刺激
 ・眼刺激
 ・アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
 ・遺伝性疾患のおそれの疑い
 ・発ガンのおそれの疑い
 ・呼吸器への刺激のおそれ
 ・長期又は反復ばく露による臓器(呼吸器)の障害のおそれ
 ・水性生物に有害

注意書き:

【安全対策】

- ・取扱い作業場では火気厳禁で局所排気装置を設けてください。
- ・取扱い中は換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにし、必要に応じて有機ガス用マスク又は、送気ガス用マスクを着用してください。
- ・眼、皮膚に触れないように保護眼鏡、保護手袋、長袖の作業服を着用してください。
- ・取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。

【緊急処置】

- ・火災時には、炭酸ガス、泡又は粉末消火器を使用してください。
- ・眼に入った場合は、多量の水で15分以上洗い、速やかに医師の診察を受けてください。
- ・蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ・皮膚に付着した場合は、石鹼水で洗い落とし、痛み又は外観に変化がある場合には、速やかに医師の診察を受けてください。
- ・誤って飲込んでしまった場合には、直ちに医師の診察を受けてください。

【保管】

- ・貯蔵は、直射日光の当たらない冷暗所(5℃～40℃)に保管し、子供の手が届かない一定場所に、フタをして保管してください。

【漏洩】

- ・容器からこぼれた場合、砂、布等でふきとり、不燃性の容器又は水を張った容器に回収してください。

【廃棄】

- ・内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託してください。

3. 組成、成分情報
物質

化学物質・混合物の区分 : 混合物

化学名又は一般名 : エチレン・酢酸ビニル共重合体水系エマルジョン

成分名 : エチレン・酢酸ビニル共重合体

含有量 : 54～58%

官報公示整理番号(化審法) : (6)－6

CAS番号 : 24937-78-8

成分名 : 水

含有量 : 42～46%

官報公示整理番号(化審法) : —

CAS番号 : 7732-18-5

成分名 : 酢酸ビニル(未反応物)

含有量 : 0.3>%

官報公示整理番号(化審法) : (2)－728

CAS番号 : 108-05-4

注記:これらの値は、製品基準値ではありません。

4. 応急処置

吸入した場合 : 蒸気、ガス等を吸入して、気分が悪くなった場合には、直ちに新鮮な空気のある場所に移し、安静、保温に努め、速やかに医師の手当を受ける。

皮膚に付着した場合 : 付着した衣服、靴を脱ぎ付着した部分を水又は微温湯を流しながら洗浄する。

眼に入った場合 : 清浄な水で15分間以上洗眼した後、直ちに眼科医の手当てを受ける。

飲込んだ場合 : 水で口の中を洗い、直ちに医師の手当てを受ける。

応急措置をする者の保護 : 状況に応じて適切な保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項 : 情報なし

5. 火災時の措置

消火剤 : 粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素消火薬剤、砂、霧状水

使ってはならない消火剤 : 棒状水な、火災を拡大し危険な場合がある。

特有の危険有害性	: 火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。
特有の消化方法	: 初期の火災には、粉末、二酸化炭素、などを用いる。 大規模火災の際には、泡消化剤などを用いて空気を遮断することが有効である。 周辺火災の場合、周辺の設備などに散水して冷却する。
消化を行うものの保護	: 消化作業の際は、空気呼吸器、化学用保護具を着用する。

6. 漏洩時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:

- ・室内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
- ・漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。
- ・処理作業の際には、保護具(ゴム手袋、保護めがね、呼吸用保護具等)を着用し、飛沫が皮膚に付着したり、ガス・蒸気を吸入しないようにする。
- ・風上から作業し、風下お人を退避させる。
- ・着火した場合に備えて、消火用機材を準備する。
- ・多量の場合は、人を安全に退避させる。

環境に対する注意事項:

- ・漏出物が河川等に流入しないように注意する。河川等へ流入した場合は、必要に応じ、消防署、都道府県市町村の公害関連部署、河川管理局、水道局、保険所、農協、漁協等に連絡する。
- ・悪臭等の発生のため、周辺の住民に漏洩の生じたことを通報する等の適切な措置を行う。

回収、中和:

- ・少量の場合、乾燥砂、おがくず、布等で拭き取り、密閉できる容器に回収する。後で廃棄処理する。
- ・多量の場合は、流路を毛布、土壌等でせき止め、バキューム等で回収する。

封じ込め及び浄化の方法

- ・機材:
- ・危険でなければ漏れを止める。
- ・漏出物を取り扱うとき用いる全ての設備は、接地する。

二次災害の防止策:

- ・付近の着火源を速やかに取り除き、着火した場合に備え消火器を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策:

局所排気・全体排気:

安全取扱い注意事項:

- ・「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
- ・「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体排気を行う。
- ・作業場の換気を十分に行う。
- ・保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。
- ・スプレーミストや蒸気を発生する作業の場合は、局所排気装置を設置するか、またはフィルター付きの保護マスクを着用する。
- ・取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

接触回避:

- ・「10. 安全性及び反応性」を参照。

保管

技術的な対策:

- ・保管場所は、壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、はりを不燃材料で作る。
- ・保管場所は、屋根を不燃材料で作るとともに、金属板その他の